

# 伊那谷リニアバレーNEWS

～長野県にリニアがやってくる！～

VOL.8 令和5年9月8日発行

長野県 建設部 リニア整備推進局

TEL:026-235-7016

FAX:026-235-7482

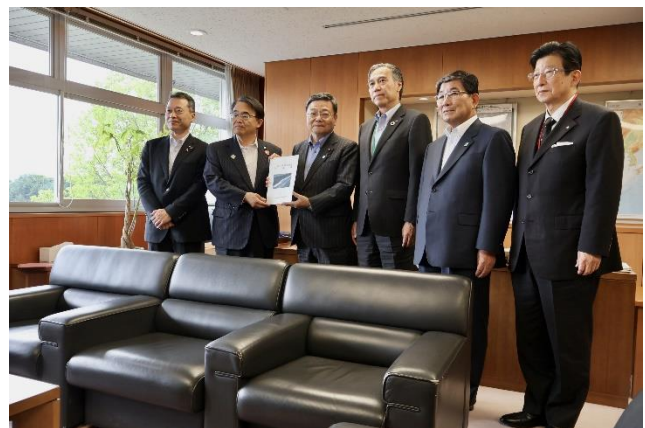
E-MAIL:linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

## ■リニア中央新幹線建設促進期成同盟会の総会を開催しました！

5月31日(水)、東京都ザ・キャピトルホテル東急にてリニア中央新幹線沿線10都府県(東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、大阪府)からなる、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会の総会を開催しました。令和5年度の事業計画を承認したほか、早期全線開業を求める決議を採択し、同日、国土交通省古川康大臣政務官に要望しました。副会長の阿部守一知事は、総会冒頭の挨拶において、「伊那谷地域ではリニア開業は長年の悲願。静岡工区問題は開業時期に直結する極めて重要な課題であり、沿線地域全ての共有の問題である。さまざまな課題を我々もしっかりと共有し、力合わせて事業推進のために取り組んでいきたい。」と述べました。



リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会 阿部知事挨拶



要望活動(国土交通省)

## ■松川町立松川北小学校でリニア工事のダンプを使った安全教室を開催しました！

～松川町とJR東海の取組～

リニア工事用車両をはじめとした、大型車との交通事故を防ぐため、令和5年2月の開催に引き続き、6月7日(水)に松川町立松川北小学校の児童を対象に交通安全教室が開催されました。前回参加できなかった学年を対象に、実際に走行しているダンプカーを使用しながら、大型車特有の危険性(死角・内輪差)をJR東海工事関係者から説明していただきました。

児童たちは、実際に運転席から周囲がどう見えるのか、また、大型車の内輪差はどのくらいあるのかを体感し、今まで知らなかった危険性について勉強することができました。



交通安全教室の様子 提供:松川町

## ■山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会を飯田市において開催しました！

6月12日（月）、飯田市エス・バードにて、山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会を開催しました。研究会ではリニア開業による新たな交通体系の構築として「空飛ぶクルマ」について、兼松株式会社様や Skyports 株式会社様から海外での商用運航予定の事例紹介や、空飛ぶクルマの設置に向けたプロセスについて説明していただきました。

他にも、リニア開業による地域振興の取組などについて情報交換を行うとともに、会議終了後はリニア長野県駅（仮称）の現地視察を行い、飯田市から、実際の駅舎や線路の予定地、周辺道路の整備状況などについて説明をいただき、工事の進捗状況を確認しました。



山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会



空飛ぶクルマ ©経済産業省

## ■名古屋市で駒ヶ根市の魅力をPRしました！（駒ヶ根市と中央アルプス観光株の取組）

6月24日（土）、25日（日）に名古屋鉄道名古屋駅で駒ヶ根市単独となる初の観光イベントが開かれました。中京圏から高速バス一本で来れる観光地としての魅力や、リニア中央新幹線が開通することにより、更なる観光客の増加も見込まれることから、駅の利用者に対して、市内の見どころや、宿泊・観光施設などを載せたマップなどを配り、駒ヶ根市の魅力を発信しました。会場には市のPRキャラクター「こまかっぱ」も登場し、会場を盛り上げました。



こまかっぱと共に駒ヶ根市をPRしている様子 提供：駒ヶ根市



## ■ リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催しました！

7月21日（金）、長野県飯田合同庁舎にてリニア中央新幹線建設促進長野県協議会の総会を開催しました。総会では、「早期整備・開業時期の明確化」、「工事の安全確保と地元地域への事故情報等情報提供の徹底」、「建設工事等に対する地域の信頼・住民理解の確保」、「地域振興への積極的な取組」など8項目を決議しました。また、8月8日（火）にJR東海品川本社において決議した8項目の要請書をJR東海中央新幹線推進本部副本部長へ手渡しました。



リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会 阿部知事挨拶



要請書の手交(JR東海)

## ■ 500人の人文字で昼神温泉出湯50周年を盛大にお祝い！（阿智村の取組）

6月4日（日）に阿智村運動公園わい wai において、昼神温泉出湯50周年の人文字撮影イベントが開かれ、人文字で50と♨（温泉マーク）をつくり、ドローンで撮影を行いました。村民約500名が参加し、撮影終了後には昼神温泉宿泊助成券や星空ナイトツアーチケットなどが当たる抽選会も行われ、大勢の人で賑わいました。

村では11月23日（木）に昼神温泉出湯50周年式典を開催する予定で、式典の中で人文字の映像が使われます。他にも式典では、温泉郷の歴史や、出湯当時の関係者へのインタビューをまとめた映像で50年を振り返り、リニア中央新幹線開業を見据えた将来構想を阿智村から発表する予定です。

なお、11月26日（日）には阿智村民限定の出湯イベントが昼神温泉郷にて行われる予定です。



昼神温泉出湯50周年を祝う人文字 提供：阿智村

## ■トラック運転手とサイクリスト 安全意識向上へお互いの目線を体験！（大鹿村の取組）

大鹿村では道の駅「歌舞伎の里大鹿」でレンタルサイクルを行い、ガイドツアーを企画するなど自転車を活用した地域振興に取り組んでいます。

5月27日（土）には、大鹿村観光協会が主催し、サイクルスポーツ振興の一環で、大型車両の運転手と村内を自転車で楽しむサイクリストがお互いの立場を経験することで、相互理解を深め、安全走行の向上を目指す集いを開きました。

はじめに、JR 東海から「安全運転教室」として、ダンプカーの死角や、サイドミラーからの自転車運転手の見え方などを学んだ後、県道松川インター大鹿線を利用している飯伊砂利採取販売協同組合の運転手が自転車に、また、サイクリストがダンプカーの助手席に、それぞれ乗車し、県道松川インター大鹿線を走行。普段自分が相手からどう見えているのか、どう感じているのかなどを体感し、安全意識を高め相互理解を深めました。

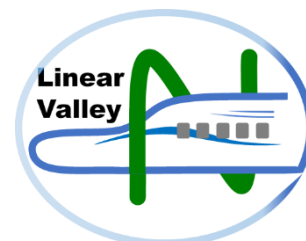


実際にダンプカー、レンタルサイクルに乗車し、走行している様子

提供：大鹿村観光協会

県リニア整備推進局では、リニア中央新幹線開業に向け、気運の醸成を図るため、資料などへ使用できる右のロゴマークを作成しました。

今後、資料に貼付するなど積極的に使用していくほか、伊那谷リニアバレーNEWSを読まれる皆様にも、使用していただきたいと思います。利用をご希望の場合、担当までご連絡ください。（連絡先：026-235-7016）



©長野県